

問1-2 暮らしが苦しくなったと感じる理由

問1-2 「苦しくなった」と答えた方にお尋ねします。

あなたが、暮らしが苦しくなったと感じるのは、どのような理由からですか。

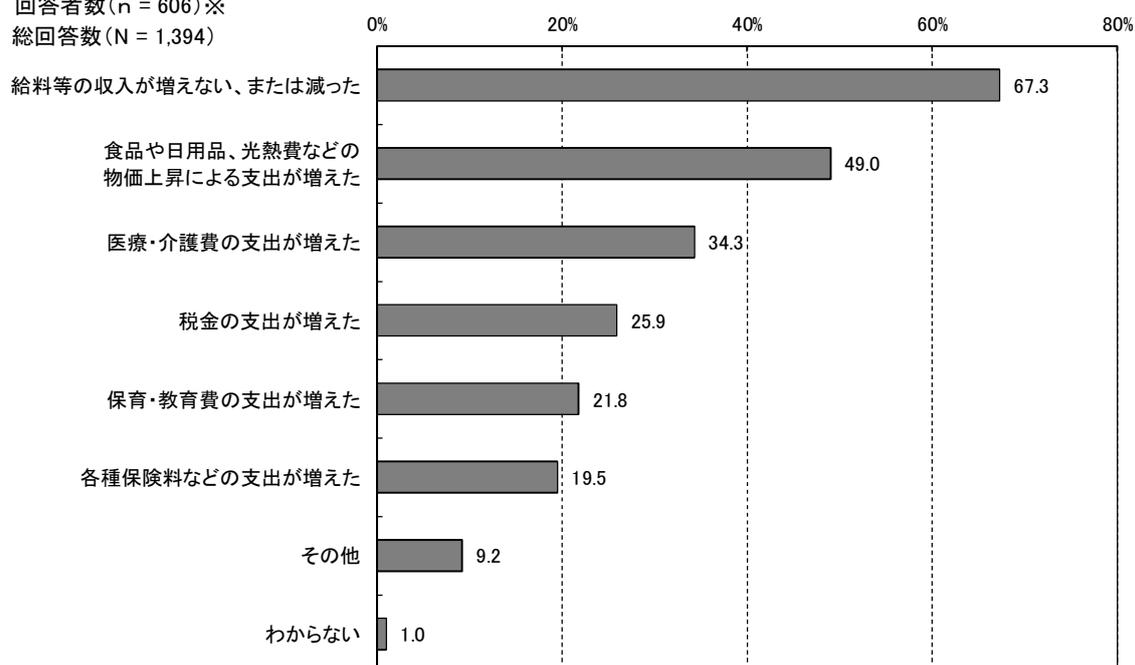
(3つまで)

全体(図1-2-1)で見ると、「給料等の収入が増えない、または減った」が67.3%と最も高く、次いで「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」(49.0%)、「医療・介護費の支出が増えた」(34.3%)の順となっている。

図1-2-1 暮らしが苦しくなったと感じる理由

回答者数(n = 606)※

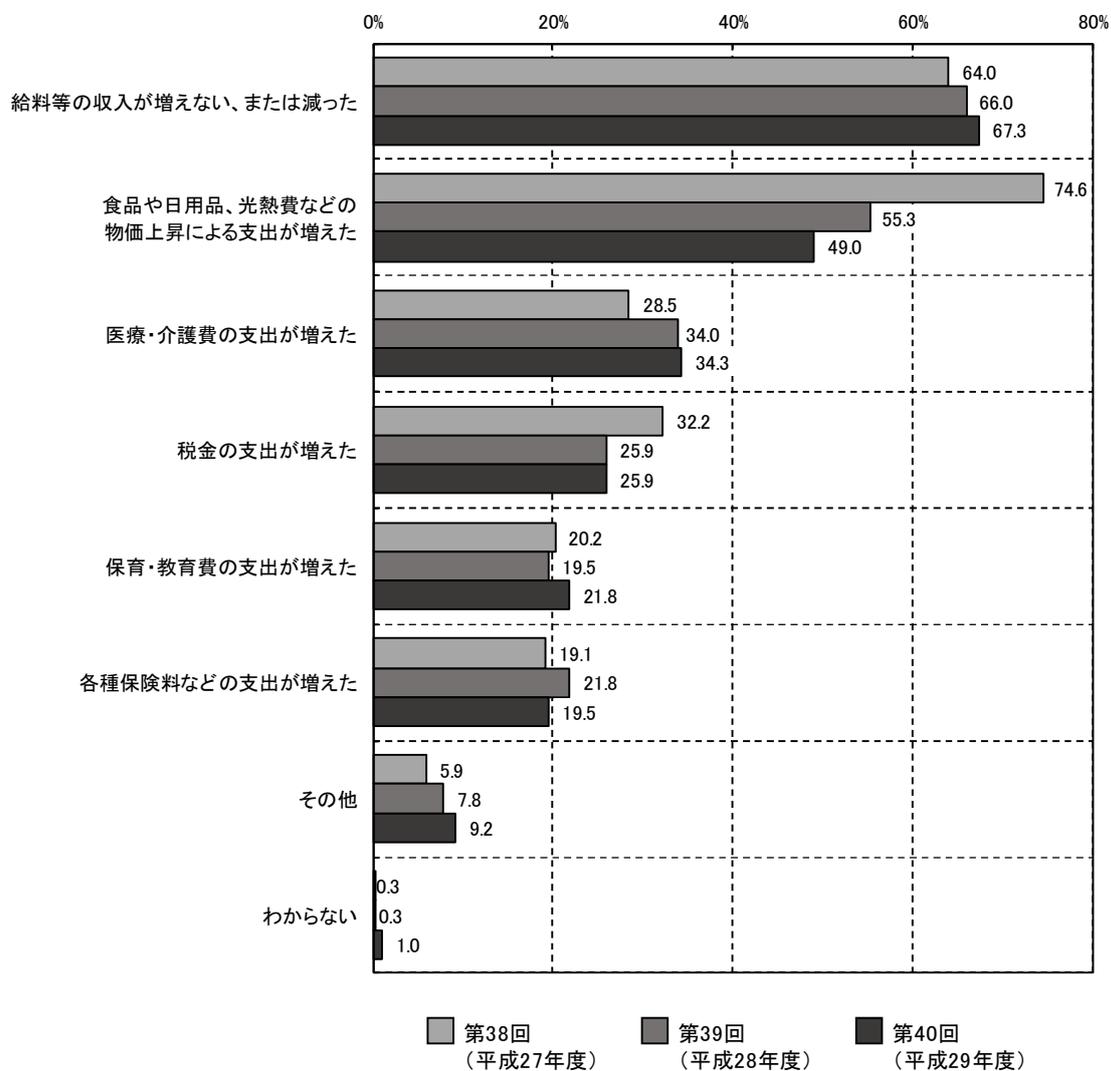
総回答数(N = 1,394)



※ 問1で「苦しくなった」と答えた方のみ

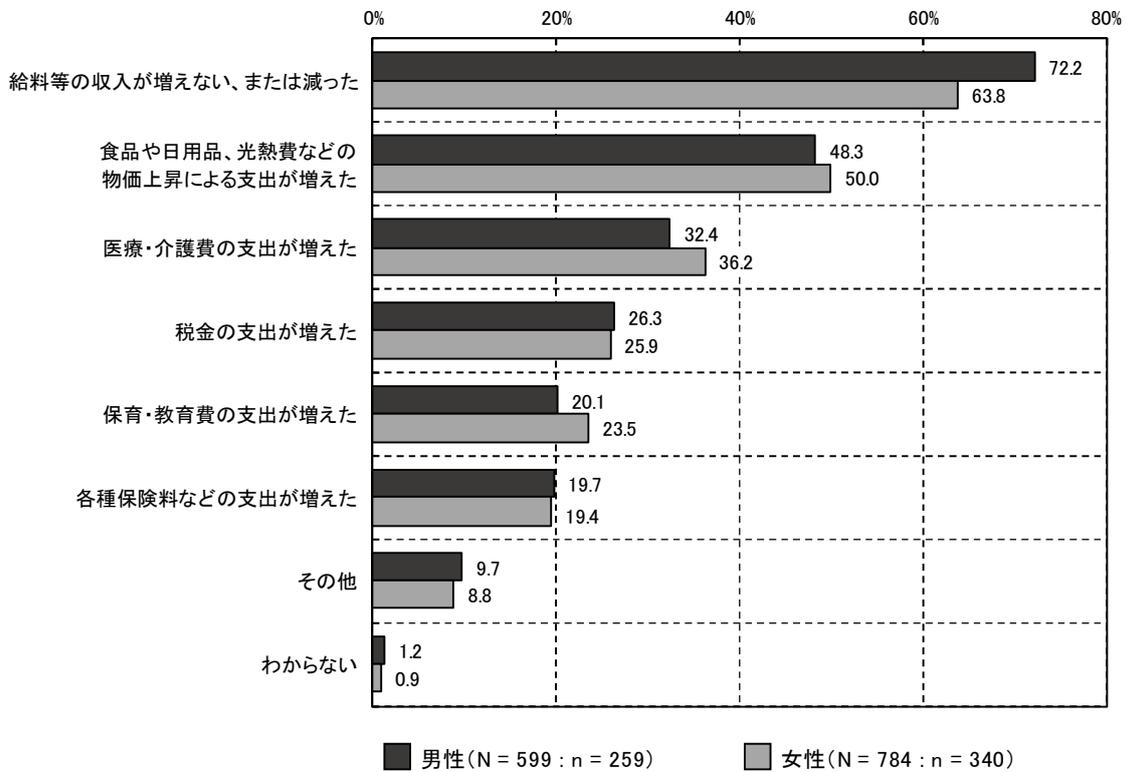
前々回・前回比較（図 1-2-2）で見ると、「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」は年々低くなっており、前回と比べても 6.3 ポイント減少している。「給料等の収入が増えない、または減った」は前回に比べて 1.3 ポイント増加している。

図 1-2-2 【前々回・前回比較】 暮らしが苦しくなったと感じる理由



性別（図 1-2-3）で見ると、男女ともに「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高くなっており、男性が女性より 8.4 ポイント高くなっている。

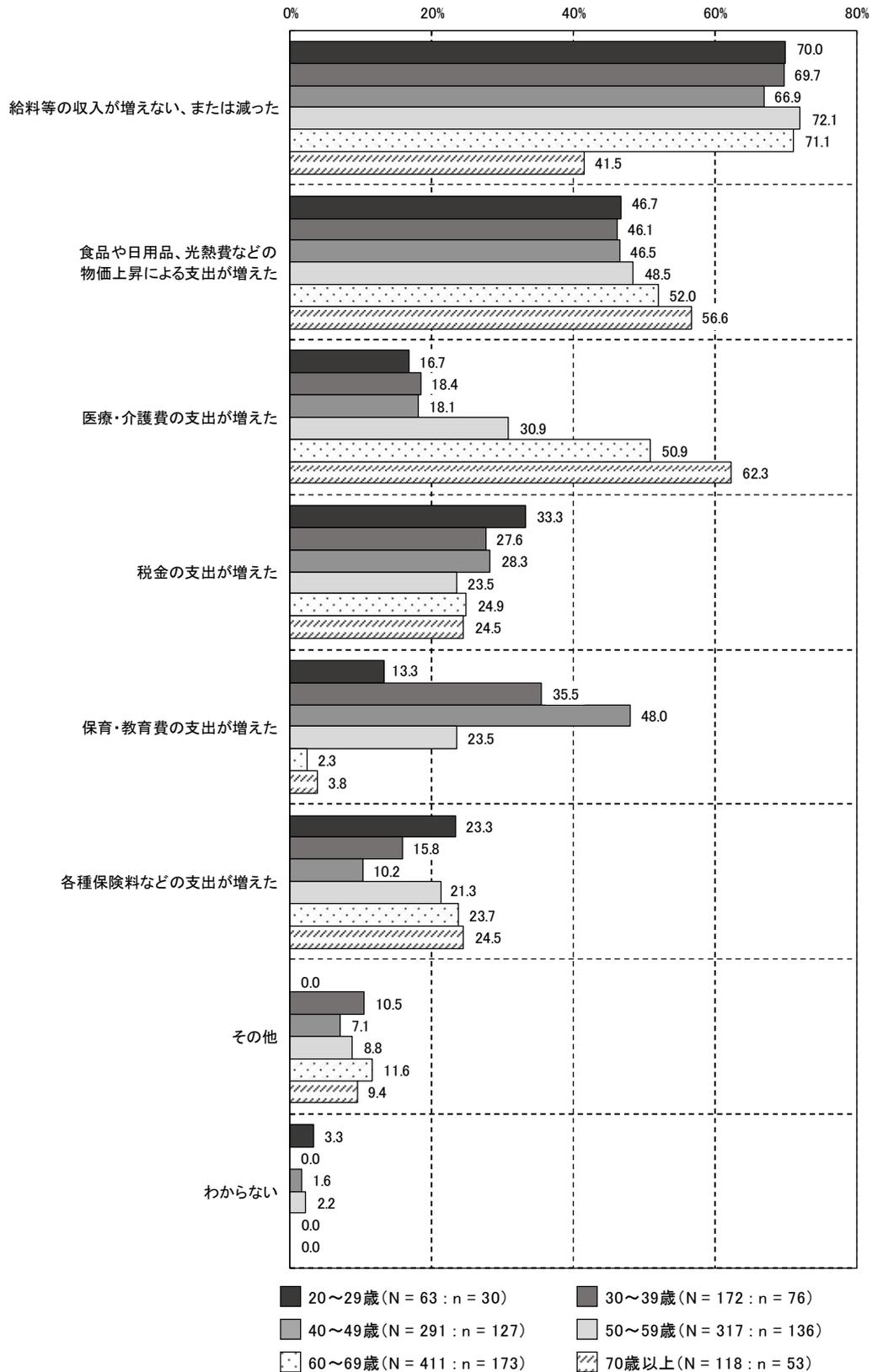
図 1-2-3 【性別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

年代別（図 1-2-4）でみると、70歳以上を除くいずれの年代においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち50歳代が72.1%と最も高くなっている。70歳以上では「医療・介護費の支出が増えた」が62.3%と最も高くなっている。

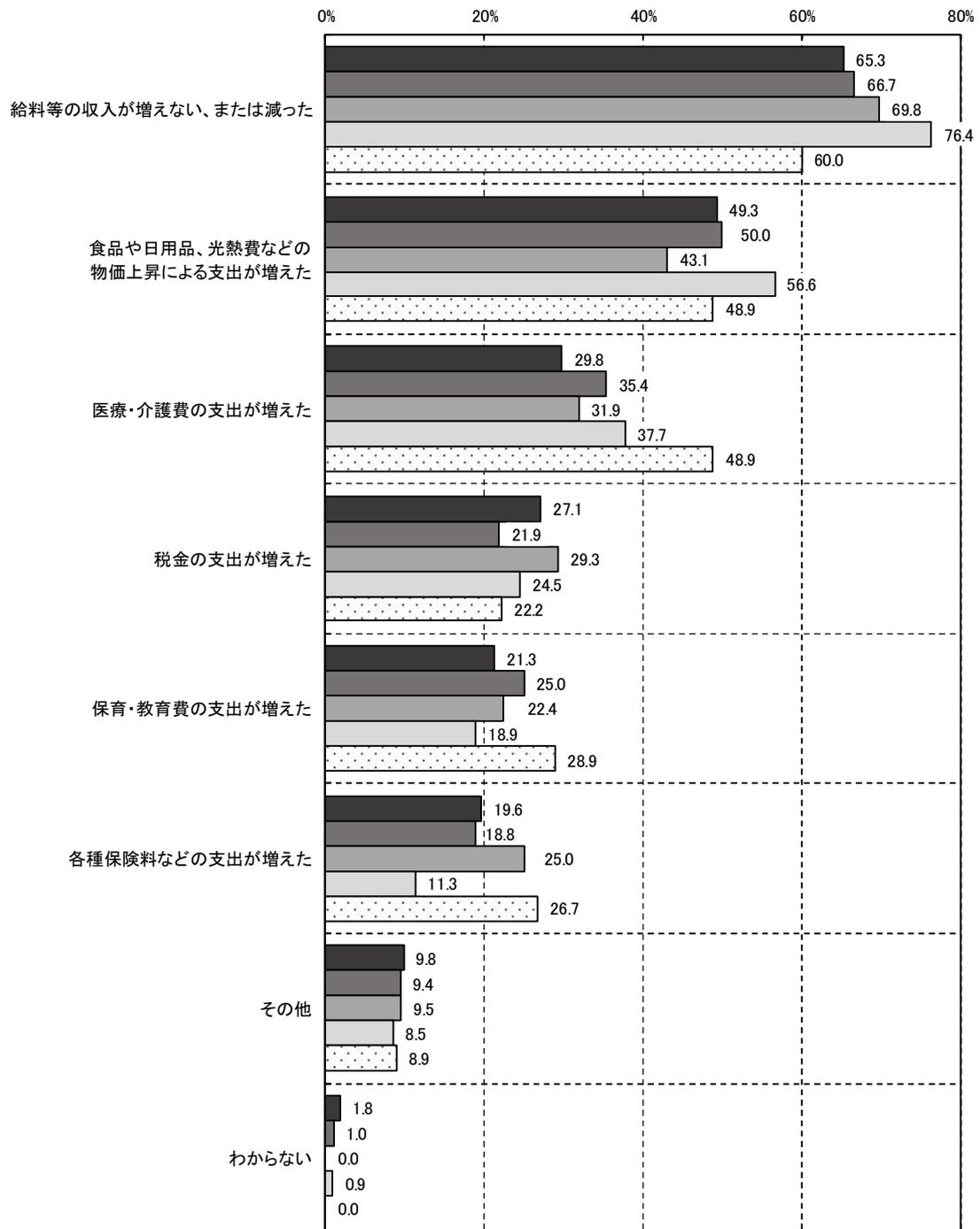
図 1-2-4 【年代別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 1-2-5）でみると、いずれの居住圏域においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち東濃圏域が 76.4%と最も高くなっている。

図 1-2-5 【居住圏域別】くらしが苦しくなったと感じる理由

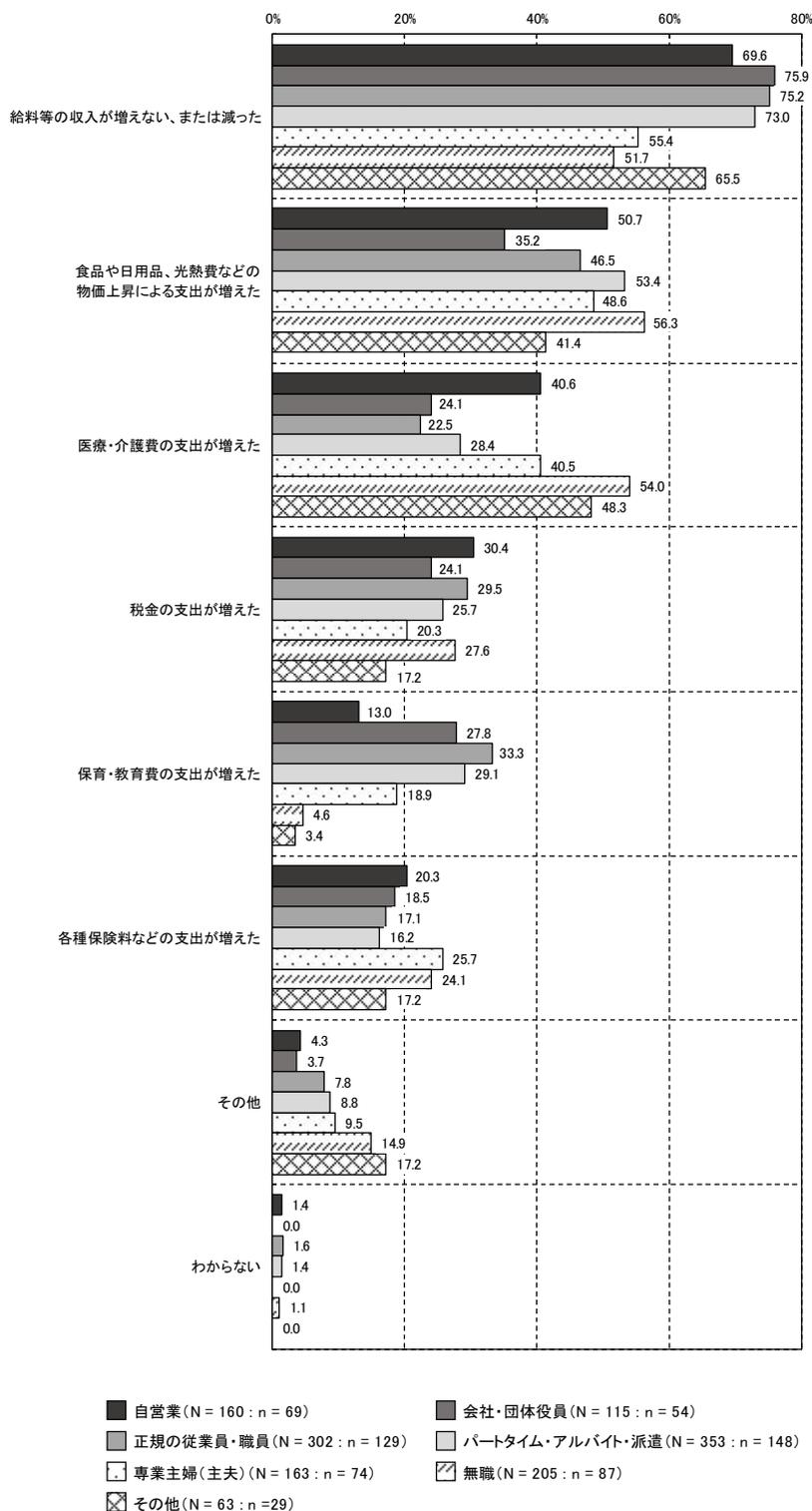


■ 岐阜圏域 (N = 508 : n = 225) ■ 西濃圏域 (N = 221 : n = 96)
 ■ 中濃圏域 (N = 270 : n = 116) ■ 東濃圏域 (N = 250 : n = 106)
 ■ 飛騨圏域 (N = 110 : n = 45)

※ N=総回答数 n=回答者数

職業別（図 1-2-6）で見ると、無職を除くいずれの職業においても「給料等の収入が増えない、または減った」が最も高く、そのうち会社・団体役員が 75.9%と最も高くなっている。無職では「食品や日用品、光熱費などの物価上昇による支出が増えた」が 56.3%と最も高くなっている。

図 1-2-6 【職業別】くらしが苦しくなったと感じる理由



※ その他には、自由業、学生を含む
 ※ N=総回答数 n=回答者数